

◆2022年 中学入試算数 講評 【桜蔭】

今年も例年と同様、大部分が思考力を問われる問題でした。同時に、例年通り長文の意味をくまなく読み取ることや、煩雑な計算や処理を効率的にまとめる工夫をした上で、早く正確に解くことも求められる内容でした。

中でも大問4（立体図形 組み合わせ）が圧巻でした。後半は、円柱と円錐を問題で提示されたルールの範囲で組み合わせる問題ですが、前半部分がややミスリードになっており、引っかかる要素がとても多いです。

ルールを正確に把握した上で、創造的に状況を打開し、本当に条件に当てはまるのかを確認しつつ解答することが求められます。

今年の中学入試における同分野を代表するような、最高難度の問題でした。

同校の問題は、男子校・共学を合わせても最高レベルですが、女子校の中では特に群を抜いてタフな内容と言えるでしょう。